



月刊 千葉労働

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 千葉 (22) 7207 番

90.4.11 No.199

懸案要求の前進を!

春闘第一波

不当処分策動粉砕

清算事業団闘争勝利!

48

スト、会社抗議は?



四月八日、動労千葉は九〇春闘の第一波の闘いとして総武・京葉支部の二十名が指名ストに突入し、貫徹した。十三時より、全国労組交流センター協賛のもと千葉公園において三二〇名を結集し「不当処分策動粉砕、清算事業団闘争勝利、九〇春闘勝利」JR抗議集会を開催、時折強い風と雨が吹く荒れもようの天候

の中で最後までやりきった。主催者を代表して中野委員長が挨拶にたち「三月ストへの違法な介入と、不当処分策動を絶対に許さない。あらゆる反撃の闘いを展開し、勝ちぬいてゆく」と決意を明らかにした。

つづいて全国交流センターを代表して三角氏が発言に立ち「交流センターはこの一年『反連合・反全労連』を旗印にして闘いぬいて着実な前進を勝ちとってきた。動労千葉への不当な処分攻撃に對しては全力をあげて闘う」と力強くアピール。

三里塚からは北原事務局長が激励と連帯にかけつけられ「不当処分に対しては三里塚勢力はあげて闘う」と熱烈に訴えら

れた。視した不当処分策動にうってでてきている。『違法スト』呼ばわりされるスジでは全くない。動労千葉は全力をあげてこの不当処分策動粉砕のために闘い抜く。本日を期して、動労千葉支援カンパ大運動を全国で展開してゆく」と提起した。

三月向の闘いの根拠で

4月新たな闘いはいま

た。つづいて清算事業団からの特別報告にうつり、九州を代表して高田氏が発言にたち、九州の清算事業団労働者の闘いを克明かつ生き生きと報告し、動労千葉からは十二名を代表して林支部長が「第一波、第二波の二十八名の解雇された仲間と連帯して、ハンドル・ハンマーを再び取り戻すまで争議団として闘い抜く」という新たな戦闘宣言を発し、全体が拍手で応えた。

田中書記長が基調報告を行い、「八四時間ストは実に偉大な闘いであり、JR・JR総連革マル体制をゆさぶっている。だからこそ敵はあせりにかかれ、法律も何もかも無

昨日、新賃金回答出る(詳しくは交渉ニュースを)

東日本会社	一五、七二四円
定昇	五、八二一元(二、二一%)
ベ・ア	九、九〇三元(三、七六%)
貨物会社	一六、二一五四円
定昇	五、七五一円(二、〇七%)
ベ・ア	一〇、五〇三元(三、七八%)
西日本会社	一五、七七八円
定昇	五、七二九円(二、一七%)
ベ・ア	九、九〇三元(三、八〇%)